

「マット・グロッソ州シノッピ市児童支援施設建設計画」

5月25日、マット・グロッソ州シノッピ市（州都クイアバより北方約500km）において、当館が実施した平成14年度草の根無償資金協力「マット・グロッソ州シノッピ市児童支援施設建設計画」の施設引渡式が行われました。

引渡式は、完成した児童支援施設において行われ、本件援助の被供与団体である教育社会援助中央ブラジル・アドベンチスト協会（ADRA）のダニエル・ペレイラ・ドス・サントス事務局長の他、ニルトン・レイトン・シノッピ市長をはじめとする地元関係者の方々、当館より佐藤宗一首席領事らが出席しました。

式典会場には日本による経済協力であることを示す横断幕が掲げられ、200名以上の地元の方々のほか、テレビ局をはじめ地元マスコミ数社も取材に訪れました。

地元関係者の説明によれば、職のない貧困住民が周辺地域から同市内に移り住んでくる傾向があるため、近年、市内各地に貧困地域ができているとのことで、本件援助に対する議意、並びに今後の成果に対する地元の期待は大きなものでありました。

今後、同施設において活発な貧困住民支援活動が行われることが期待される所であり、領事館も同施設の活用状況について鋭意フォローしていく予定です。

○上記案件のプロフィール

案件名：「マット・グロッソ州シノッピ市児童支援施設建設計画」

被供与団体：教育社会援助中央ブラジル・アドベンチスト協会（ADRA）

契約署名日：2002年6月28日

供与限度額：US\$69,050

案件概要：マット・グロッソ州シノッピ市において、十分な家庭の保護を受けることができない児童に対し、学校教育の補習、職業訓練、食事の提供等を行う施設の準備と必要な機材の供与を行うための資金を無償提供したものである。

なお、マット・グロッソ州において草の根無償資金協力が実施されるのは、本件が最初となる。

教育社会援助中央ブラジル・アドベンチスト協会(ADRA)は、平成11年度にサンパウロ市において、ヴィラ・マティウジ地区共同体開発センター計画で草の根無償資金協力を実施している。



建設された児童支援施設



施設内部の様子

